

中国都市部における若者の婚姻・恋愛問題についての考察
—「80 後」一人っ子とその親世代—

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
対人援助学領域
家族機能・社会臨床クラスター
高 謹

「80 後」とは、一般的に 1980 年 1 月 1 日～1989 年 12 月 31 日生まれの世代を指す。その多くが、中国 1979 年計画出産政策の実施に伴って生まれた一人っ子である。一人っ子について、さまざまな観点から研究がなされてきたが、本研究は、中国都市部における「80 後」一人っ子世代の婚姻・恋愛問題と親子関係について調査し、考察したものである。

婚姻・恋愛意識は時代の特徴を反映する。中国でも、時代の変遷に伴って、人々の婚姻・恋愛意識は大きな変化を遂げてきたが、一人っ子世代の婚姻・恋愛に、親世代が介入することが指摘されている。また、親・子世代はまったく異なる文化・環境に育ち、婚姻に対する見解に相違があることから、「80 後」一人っ子の婚姻・恋愛観、および「80 後」の親子関係について明らかにしたいと考えた。そこで、山東省を中心に、「80 後」一人っ子の若者世代、および親世代にインタビューを行い、それぞれの世代に、1. 結婚適齢期について、2. 結婚配偶者について、3. 結婚相手との知り合い方、4. 子どもの婚姻・恋愛に対する親の関与、5. 親の関与に直面した子どもの反応 について尋ねた。こうして得られたインタビュー・データを文字起こしし、それぞれ KJ 法の手法を使って整理した。また、こうして得られた結果を突き合せ、両世代が婚姻・恋愛でぶつかる時についての分析を行った。

両世代は、「恋愛年齢」「結婚年齢」「結婚配偶者の選択」及び婚姻中の「子育て」に関することでぶつかっていた。親世代は子どもの意見を尊重すると言う一方で、子どもの婚姻・恋愛に関して一定の要求を持っており、直接的、間接的に関与している場合が多かったが、その干渉行動は自覚されず、無意識である傾向が見られた。それに対し、子ども世代は、「反感」を持ちながら、「無視」、「反抗」、「反感と理解の共存」という反応を示していた。とは言え、年齢と生活経験が増えるに伴い、肉親に対する愛情と親からのアドバイスの重要性を感じるようになっていた。そこには、中国における「80 後」一人っ子とその親世代との緊密で、矛盾をはらんだ“複雑”な親子関係が見えた。

本研究には、多くの限界があり、今後、中国における全体の婚姻市場に関する幅広くさらに詳細な研究が望まれる。